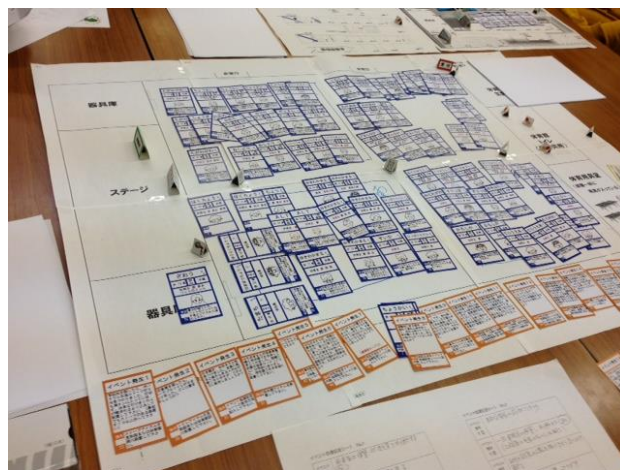


(活動報告書様式)

| | | | |
|--------------|---|--------|-----------|
| 団体名 | NPO法人 やまがた絆の架け橋ネットワーク | | |
| 事業名 | 「ゲーム感覚で学ぶ避難所運営体験プログラム」構築プロジェクト | | |
| 助成事業区分 | 協働助成事業(一般型)【県政課題:災害時におけるボランティアやNPO等による円滑な支援活動の実施】 | | |
| 団体の 所在市町村 | 寒河江市 | 事業費 | 424,420 円 |
| | | うち助成金額 | 410,000 円 |



■事業目的

山形県は自然災害が少なく、県民の防災意識が高いとは言いがたい状況にあります。そのため、山形版「避難所運営ゲーム(HUG)」を制作、災害発生時の避難所で起こる様々な出来事にどのように対処していくのか、ゲームを通じて疑似体験できる研修プログラムを作成します。更にこれを使い、広く県内で研修会を実施し、災害や避難所運営の手法を学ぶ機会を増やし、県民の防災意識の向上と円滑な避難所運営をはじめとする支援活動が可能となるようにします。

■実施内容

第1段階

1. 静岡県版、北海道版を

実際に体験、山形県版への改良の検討

2. ロールプレイングの実施と改良。(避難者の様子、状況の変化などのストーリー展開)

3. 山形版として完成版をキット(教材)として新たに製作し研修プログラムとして確立。

第2段階

1. 行政職員、市民団体、地域団体などをはじめ、広く県民を対象として実際に研修会を開催。

①第1回目2月8日(木)東北公益大内部にて 参加者 学生11名 一般3名

②2回目の体験会の予備体験実施 鶴岡第一学区コミュニティ振興会の役員2名と酒田警察署から1名参加。

鶴岡第一学区防災センターにて 参加者 一般31名

■事業の成果、今後の展望

災害時を想定した図上訓練はこれまでも行われてきたが、狙い通りの効果が出せるよう研修教材そのものにメスを入れ、新たなものを作り出せた事は非常に大きな成果だと思う。

非常に現実味と臨場感のある教材が出来上がり、研修の効果期待できる。完成以降、地域の自主防災組織を中心に問合せが多数入っており、実際に研修会も数多く行われている。更にその成果として、マニュアルの変更や体制の見直しなどに繋がる成果を出している。